

資料を読み取る力の向上を目指した指導の工夫

～地域を比較し学べるマルチメディア教材「わたしたちの群馬県」の作成と活用を通して～

情報教育班 桐生 茂雄（小学校教諭）



◎資料を読み取る力を身に付けさせられるよう、資料の提示方法や発問・言葉かけを工夫する。



手だて

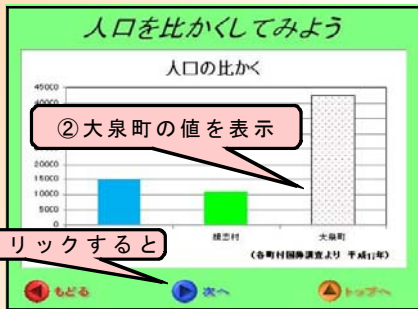
1 マルチメディア教材の作成

①児童の実態にあった資料収集・教材作成
 現地取材・資料収集 → マルチメディア教材

②学習を支援する仕掛け

予想を立てさせる仕掛け

1クリックごとに1項目を表示



読み取りのポイントを示す仕掛け

「読み取りのポイント」をクリックすることで表示

| キャベツの出荷(出荷)時期のちがいを比較してみよう | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 大泉町の出荷時期 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 嬭恋村の出荷時期 | - | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

必要に応じて「読み取りのポイント」を表示

2 マルチメディア教材の活用

①学習計画の工夫

児童が住む甘楽町と嬭恋村・大泉町を比較しながら学習

②資料提示の工夫



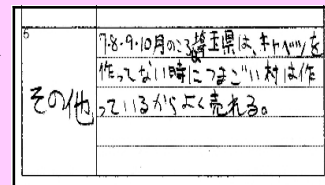
3町村を比較しやすいように、写真を並べて提示

学習の積み重ねを、教室前方に提示



③発問や言葉かけの工夫

児童が多様に考えられる発問・言葉かけ



「読み取りのポイント」を見てまとめたワークシート

成果と課題

- ◎目的にあった資料を収集し、提示することができたため、児童は町の様子の違いを読み取ることができた。
- ◎次の項目の値がどうなるかを予想するための間をおくことができたため、児童は値の違いや変化に気付くことができた。
- ◎必要に応じて「読み取りのポイント」を表示できるようにしたため、児童が考えをまとめるための方向付けになった。
- ◎3町村の写真を並べて表示したため、児童は様子の違いを読み取ることができ、嬭恋村のキャベツ畑の広さや大泉町の工場や町の雰囲気から、それぞれの特色をとらえることができた。
- ◎児童が多様に考えられるよう、発問や言葉かけをしたため、友達同士意見交換しながら、課題解決に向けて学習を進めることができた。
- ▲単元を通して、児童に資料を読み取らせる場面、学び合わせる場面を適所に入れ込み、児童がより資料を深く読み取ることができるよう自己研修していきたいと考える。